

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 2 回 定例委員会
日時	令和8年2月6日 自 15時00分 至 16時16分
場所	第二庁舎2階北会議室
出席委員	教育長 山本 俊介 委員 佐藤 郁子 委員 齋藤 智子 委員 岡田 秀樹 委員 高橋 憲司
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 郁子 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 飯塚 菜摘
事務局職員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 荒 関 基 高 学 校 教 育 課 長 三 橋 大 輔 生 涯 学 習 課 長 田 中 恵 子 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 稻 場 和 宣 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 査 岡 崎 一 樹 総 務 企 画 課 主 任 主 事 飯 塚 菜 摘
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（山本教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤 郁子 委員）
3 会議録の承認
（山本教育長） 第1回定例教育委員会（令和8年1月23日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
－会議録どおり承認－
4 教育長の報告
（山本教育長） 本日の教育委員会議に先立ち、先程、総合教育会議を終えたばかりですが、委員の皆様、大変お疲れさまでございました。苫小牧市立学校再編ビジョン（素案）と働き方改革加速化計画（案）についての市長との協議でしたが、方向性も一致し、有意義な意見交換ができたものと思います。
さて、2週間前の第1回定例教育委員会議以降の主な動きなどについて報告させていただきます。
この2週間は様々な方面から教育関係へのご寄贈を多くいただいた期間でございました。1月27日は新和産業株式会社様から9回目となる図書のご寄贈を市立中央図書館へいただきました。同日、苫小牧市美術館友の会様から、美術博物館へフロンレススポットクーラーのご寄贈、1月29日に盛興・鴻野特定建設工事企業体の皆様か

ら企業社会貢献活動として樽前小学校の走り幅跳び助走路の整備をいただき、それぞれ感謝状を贈呈させていただきました。さらに、2月3日には苫小牧白鳥ライオンズクラブ様から結成50周年事業として、市立中央図書館のおはなしコーナーへのエアコン設置や子供用のサークルベンチなどのご寄贈をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝を申し上げる次第でございます。

本日の委員会は、令和8年度の教育行政執行方針や教育費予算案など市議会定例会に向けた議案、さらには、市立学校再編ビジョン（素案）、働き方改革加速化計画（案）、令和8年度学校教育推進の重点などの重要案件のほか、報告案件も数件あり、ご審議いただく案件が多く予定されておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、今年度も残り2か月を切りましたが、3学期は、卒業式、修了式、高校入試などのほか、人事異動の準備もあり、大変忙しい時期となります。忙しくなればなるほど、業務遂行を計画的に進める必要がありますことから、2月3日の定例校長会議において、各校長先生方に自身の健康管理に十分気を付け、今年度の締めくくりとなる3学期の学校経営に向き合うようお話ししたところでございます。

私からの報告は以上でございますが、何かご質問等はございますか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 苫小牧市立学校再編ビジョン（素案）について

(総務企画課長) — 苫小牧市立学校再編ビジョン（素案）について説明 —

(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。ないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。

第2号 苫小牧市立学校における働き方改革加速化計画について

(学校教育課長) ー苫小牧市立学校における働き方改革加速化計画について説明ー

(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(高橋委員) 4ページ目の「3 本市の現状と課題」の右下のところ、苫小牧市自体の職場の支援の数値が83ということで。この意味合いというか、職場の支援っていうのはどういう形で数値化されているのか教えていただけますか。

(学校教育課長) この左側に「上司の支援」ですとか「同僚の支援」という部分があるのですが、職場でいろいろなサポート体制があって、それに対してどういうストレスを感じているかということが健康リスクにつながる部分がある、というところでの数値になっています。

(高橋委員) 健康リスクだけ平均値が100として、83になっています。これはストレスが高いほど高いところなので、要はストレスがかかっていないというか。健康リスクの職場の支援としてのストレスがかかっていないのにもかかわらず、左側の方の点数を見るとストレスが高い状態というのはなぜでしょうか。全国平均からすると若干、全てに関して高い数値になっていますよね。

(学校教育課長) 下のほうの※①～④の項目について、①は数値が高いほど高ストレスで、②、③、④については低いほうが高ストレスになっておりまして、⑤健康リスクの3項目については数値が高ければストレスが高いということで、赤字で示している部分が全国より高い数値になっており、それ以外の青字はストレスがかかっていないということで書かせていただきました。

(高橋委員) 量的な負担が基本的に多いということですね。わかりました。

(山本教育長) ほかにございませんか。
(佐藤委員) 11ページで、市教委と学校の役割のところの2番目ですが、「市教委が取組を行うための支援を行う」というのは、具体的にどのような支援を考えられているのでしょうか。
(学校教育課長) 7ページからいろいろな取組を載せていますが、学校に対して支援をするために市教委で取組を進めていくという部分です。市教委でそういった取組も行うというような意味で書かせていただいております。
(佐藤委員) 積極的に先生の健康を確保しなさいというようなことを進めるというふうに理解していてよろしいですか。
(学校教育課長) 業務量を減らすことで、先生たちのストレスが減るといった部分もあると思います。あとはストレスを感じている先生たちに専門医へのご案内をするとか、そういったいろいろなサポートをしていくといった意味でございます。
(佐藤委員) サポート全般ってという意味でしょうか。
(学校教育課長) そうですね。
(山本教育長) ほかに何かございませんか。ないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(山本教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。
第3号 令和8年度苫小牧市学校教育推進の重点について
(教育部東峰参事) ー令和8年度苫小牧市学校教育推進の重点について説明ー
(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(高橋委員) とりあえず1点だけ。推進テーマの中にある重点の項目と下の方の項

目の内容が一致しないのですが、これは多分間違いですよ。
(教育部東峰参事) 上の推進テーマは、胆振管内教育推進の重点となっているため、
下の苫小牧市学校教育推進の重点と異なっております。
(高橋委員) わかりました。
(山本教育長) ほかにございませんか。
(齋藤委員) 読ませていただいた中で、教育用語なのかなというところで、例えば
重点1の■の最初、赤字で「子どもたち自身が学びを調整し」と書いてありますが、
「アップデートできる授業の創造と推進」でなんとなくはわかりますが、「子どもた
ち自身が学びを調整する」ってどういうイメージなのかということをもまず教えていた
だきたいです。
(教育部東峰参事) 子供たちは自らの学習課題を解決するために学習計画を立てて、
自分たちが考えた方法で学びを進めています。実際に自分自身の学びを振り返ったと
きに、課題解決に向かっても結局この方法ではうまくいかなかった場合、新しいやり
方でもう一回挑戦してみようと、自分なりに計画を練り直して、主体的に学びを進め
ています。
この「自身が学びを調整する」というところについては、比較的、学校現場におい
ては馴染みがある言葉なので使わせていただいていたと思います。
(齋藤委員) わかりました。学校の先生方とか教育業界の方ではきっと「学びを調
整する」という言葉は慣れ親しんだ言葉なのかなと思うのですが、私たちにはあま
り馴染みのない言葉だったのでお伺いさせていただきました。
(山本教育長) ほかにございませんか。
(佐藤委員) 1月に胆振管内の教育委員の研修会に出てまいりました。その時の講
話の中で、北海道のこれからの教育ということで、みんなで子供たちを育てましょ
うのを中心に話されていたとおり、非常に細やかなところまで重点1から重点6
に分けて、子供たちのために作られていると思うのですが、先生方のあまり負担増に
ならないように、上手に分けて、子供たちの指導をしていただきたいと思います。

<p>(山本教育長) ほかに何かございませんか。ないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(山本教育長) それでは、議案第3号は原案どおり決定いたしました。</p>
<p>議案第4号 苫小牧市文化会館条例の廃止について</p>
<p>議案第5号 令和8年度教育行政執行方針(案)について</p>
<p>議案第6号 令和7年度教育費補正予算について</p>
<p>議案第7号 令和8年度教育費予算について</p>
<p>(山本教育長) 次に、議案第4号から第7号についてですが、市議会にてお示し、審議する案件で、議会開会前に公開することは適切でないと考えられますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(山本教育長) それでは、議案第4号から第7号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。</p>
<p>6 報告・協議</p>
<p>報告(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について</p>

(教育部東峰参事) ー令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について説明ー
(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(佐藤委員) 教えていただきたいこととお願いがあります。とてもわかりやすい資料で、また読みやすい内容でよく理解できました。5ページなのですが、持久走の数字がとても低いのですが、ー47.25という数字には何か原因があるのでしょうか。また、ホームページに掲載された後、もし質問が出ましたら後で教えていただきたいなと思います。全国的にこのくらいの数値はよくあるものなのか。ー47.25は約50%で半分ですので、これが全国的に特に注目する数値ではないというものなのか、教えていただきたいです。
(教育部東峰参事) 持久走は男子で1.5km、女子は1kmの距離を走りますが、秒数でかなり差が出てしまっているという状況です。これまでも持久走については課題となっている部分ではありますが、体力自体が低下してきているというのは大きな要因であると思いますので、やはり日常的に多く運動に親しんでいるかというところが大きいかと思っております。
各学校で体育の導入の部分ですとか、さまざまな工夫はしているのですが、なかなか改善されてきていないというところもあります。体育の授業に限らず、行事と絡めた日常的な体力向上の取組ですとか、そういったところを強化していかなければならないのかなというふうに思っております。
こういった数値の全国との開きが大きいといった部分に対して、公表したときにどういったご意見、反応が出るかというところについては、各学校から何かあれば教えていただきたいということで伝えまして、情報が入りましたらお伝えしたいと思えます。
(佐藤委員) わかりました。よろしく申し上げます。
(山本教育長) ほかにございませんか。
(高橋委員) そもそも論というか、毎年されているということで、その年の小学校、

中学校で、たまたまその年に平均値が高い子たちが多かった時と、そうでなかった時に単純に分かれるので、あまり比較対象になりにくいのかなというのが、私の認識でございます。

一方で、保健体育の授業の状況について、特に14ページにある下の表の「保健体育の授業は楽しい」という項目が、全般的に上向きになってきていて、特に苫小牧の数値はかなり飛躍しており、これはすごいことだと思っています。もちろん、体力・実績の向上自体は素晴らしいことだと思いますが、このこと自体で達成されている授業に関しては、ある程度一定の評価を果たすべきだと考えております。

ですので、単純な数値だけのことでなくて、取組の姿勢だとか、子供たちが保健体育に対する考え方自体を前向きに受け止めているということは、何らかの形で期待されるべきというふうに思っております。私の意見でございます。

(山本教育長) ほかにございませぬか。ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは、報告第1号の質疑を終結いたします。

報告(2) 給食費の改定について

報告(3) 学校給食費の抜本的な負担軽減について

報告(4) 令和8年度苫小牧市学校給食会会計予算について

(山本教育長) 次に、報告第2号から第4号についてですが、学校給食会での審議前であることから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

